
「臓器移植後の再入院要因に関する現状調査」

～再入院患者と非再入院患者の比較分析～に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療録を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2020年4月1日～2025年3月31日の期間中、4階西病棟に入院し臓器移植を受けた患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

臓器移植とは、重症疾患や事故などにより臓器の機能が低下した人に、他者の健康臓器と取り替えて機能を回復する医療です。日本で臓器移植を希望して待機している患者さんは、およそ16000人います。

例えば、腎臓移植の場合、術後のメリットとして、血液透析を離脱できることで、時間的制約、食事・水分制限がなくなるなど生活の質が向上します。デメリットとして、拒絶反応を起こす危険性があるため、移植術後は、拒絶反応を抑えるために免疫抑制剤を一生内服することが必要になります。そのため、副作用として感染症にかかりやすく、今まで以上に感染対策を実施する必要があります。退院後の感染予防や自己管理指導は、移植コーディネーターが退院決定後に指導を行っています。2022年以降、臓器移植件数の増加に伴い、感染を主訴とした再入院患者さんも増加していると感じます。また、入院中に患者さんが移植後の生活について、どの程度理解しているかを把握できていない現状があります。

そのため、臓器移植手術を受けて退院した患者さんを対象に再入院した患者さんと再入院をしなかった患者さんの比較分析を実施します。これにより、再入院の要因を把握し、感染症や、拒絶反応の早期発見・予防教育や、退院指導体制の改善に役立つ資料とすることを目的とします。

3. 研究期間

病院長の許可後～2027年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2025年10月2日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

診療録より下記の臨床情報を収集します。

年齢、性別、原疾患、既往歴、移植臓器、献体、生体、ドナー情報（年齢、性別、献体の場合死因）、術後合併症の有無と内容、退院指導日・期間、退院指導内容、免疫抑制剤の種類、抗ウイルス剤内服の有無、再入院回数、退院日から再入院日までの期間、再入院の原因（拒絶反応、感染症）、再入院中の合併症・経過

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センター4 階西病棟において、研究責任者である佐藤由梨が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 情報の取得方法

4 階西病棟に入院し臓器移植を受けて退院した患者さんの診療記録を用います。

3. 情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学総合医療センター 4 階西病棟 看護師 佐藤由梨（研究責任者）

埼玉医科大学総合医療センター 4 階西病棟 看護師 澤海佑奈

埼玉医科大学総合医療センター 外来 看護師 新村晶子

埼玉医科大学総合医療センター 4 階西病棟 看護師 武熊由佳

埼玉医科大学総合医療センター 肝胆膵外科 医師 竹村信行

埼玉医科大学総合医療センター 肝胆膵外科 医師 牧 章

埼玉医科大学総合医療センター 肝胆膵外科 医師 浦橋泰然

4. 情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 4 階西病棟 看護師 佐藤由梨

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

電話：049-228-3614（土日祝日を除く 9：00～17：00）

○研究課題名：臓器移植後の再入院要因に関する現状調査～再入院患者と非再入院患者の比較分析～

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 4 階西病棟 看護師 佐藤由梨